

# 増上寺中興観智国師 と徳川家康

## 関連事業

### 聖阿上人600年遠忌

令和元年10月3日(木)

13:00～ 了誉聖阿上人600年御遠忌報恩法要 増上寺大殿2階本堂  
13:50～ 基調講演「聖阿上人報恩」 増上寺光拱殿1階講堂  
14:40～ 報恩法話 総大本山布教師会 増上寺光拱殿1階講堂

令和元年10月4日(金)

「了誉聖阿上人御報恩巡拝の旅」  
増上寺・伝通院・常福寺・誕生寺・香仙寺

### 観智国師400年遠忌

令和元年10月16日(水)

14:00～ 観智国師400年遠忌法要 増上寺大殿2階本堂  
15:00～ 記念講演 増上寺光拱殿1階講堂  
記念団参 増上寺境内

## 常設展示

### 台徳院殿霊廟模型

かつて増上寺境内に造営されていた、2代將軍・徳川秀忠公の御霊屋の10分の1スケール模型です。明治43年(1910)にロンドンで開催された日英博覧会に出品され、英国王室に贈呈されました。平成26年(2014)に女王陛下より増上寺に長期貸与され、宝物展示室内に常設展示しています。



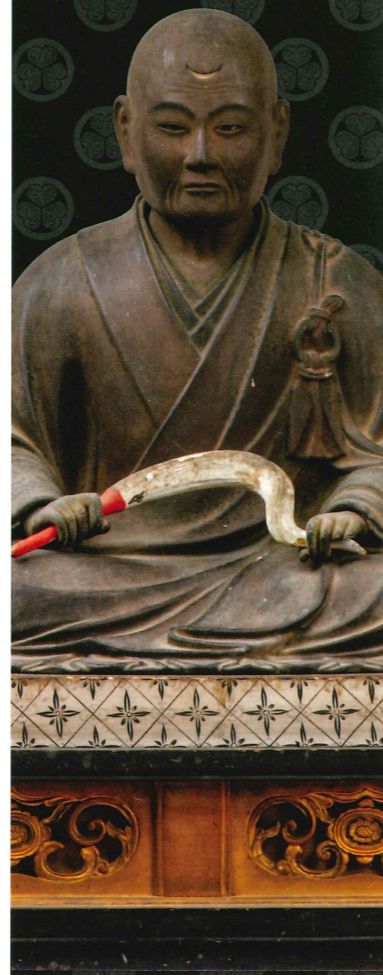
## 増上寺 宝物展示室



〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-35 TEL:03-3432-1431

# 聖阿上人と 増上寺開山聖聡上人

聖阿上人六百年遠忌・観智国師四百年遠忌 記念展



# 聖阿上人と 増上寺開山聖聡上人



聖阿上人坐像(部分) 江戸時代 誕生寺  
観智国師肖像(部分) 元和4年(1618) 大光院

## 増上寺 宝物展示室

# 2019.8/28 WED ▶ 12/23 MON

【開館時間】10:00～16:00(最終入場15:45)  
【休館日】火曜日 ※ただし、火曜日が祝日の場合は開館  
【入館料】一般700円(税込) ※徳川將軍家墓所拝観共通券1000円  
【主催】大本山増上寺

## 大本山増上寺 Zojoji Treasures Gallery

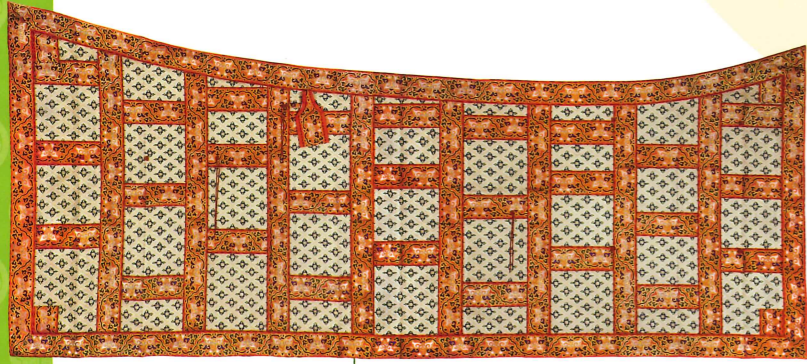
聖阿上人六百年遠忌・観智国師四百年遠忌 記念展

本年は浄土宗第七祖・聖阿上人の600年遠忌並びに、増上寺中興・観智国師の400年遠忌を迎えます。当山では、大本山増上寺浄土宗開宗850年慶讃事業の一環として、両上人の足跡をご紹介します2つの展覧会「聖阿上人と増上寺開山聖聡上人」と「増上寺中興観智国師と徳川家康」を同時開催いたします。

聖阿上人は増上寺を開いた聖聡上人の師であり、浄土宗の奥義を五段階に分けて相伝する五重伝法を確立し、伝授された聖聡上人と共に現在の浄土宗の基礎を築いた方です。

観智国師は増上寺中興の祖といわれ、徳川家康公の帰依を受け、現在の芝の地に増上寺の大伽藍を建立しました。そして浄土宗法度の制定や浄土宗関東十八檀林の整備に携わるなど数々の偉業を成し遂げられ、後陽成天皇より「普光観智国師」の号を賜りました。江戸期の増上寺並びに浄土宗発展の礎を築いた方です。

本展では増上寺所蔵品に加え、聖阿上人と観智国師ゆかりのご寺院様のご所蔵品も併せて展覧し、両上人の偉業を顕彰いたします。



### 伝衣式袈裟

令和元年(2019) 天光院

観智国師より、肖像画とともに天光院第2世春貞に授けられた「伝衣」(顕色九条袈裟)。火災により焼失したが、400回忌を記念し、肖像画中の色彩、模式に従い復元された。



### 徳川家康公像

増上寺

御簾や帳を下げ、経綯縁の畳の上に衣冠束帯姿で座す。厳しい面もちで正面を向いている。神格化された徳川家康の肖像画である。



### 法然上人伝 (会期中、場面替えあり)

【国指定重要文化財】鎌倉時代 増上寺

現存する法然上人絵伝の中では最古と考えられる。慶長15年(1610)観智国師が国師号を賜り参内した時に後陽成天皇から下賜されたものといわれる。



### 宋版・元版・高麗版大蔵経

【国指定重要文化財】

慶長年間 増上寺

大蔵経とは仏教の經典を集成したものの総称である。増上寺では、徳川家康によって寄進された、各6千巻に及ぶ3種の大蔵経を所蔵している。



### 観智国師肖像

【港区指定文化財】

元和4年(1618) 天光院

増上寺子院の天光院が所蔵する観智国師像。元和4年(1618)、観智国師自ら後陽成天皇の勅書を記し、弟子である天光院第2世春貞に与えたもの。

# 増上寺中興観智国師と徳川家康

聖阿上人六百年遠忌・観智国師四百年遠忌 記念展

# 聖阿上人と増上寺開山聖聡上人



### 聖聡上人像

江戸時代 増上寺

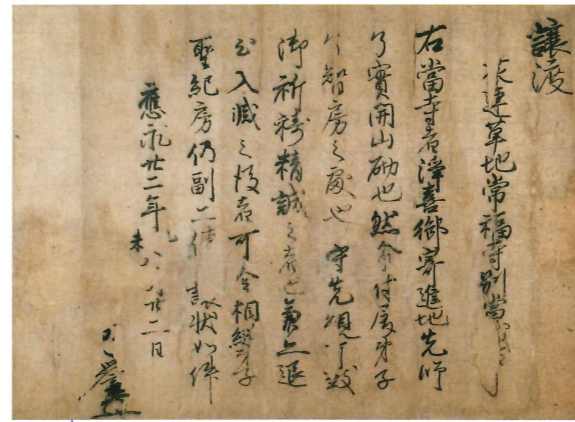
増上寺開山である聖聡上人の肖像で、増上寺第三十四世・証誓雲臥上人の賛が添えられている。奔流が近くを流れる場所に机を置き、勉学に励む姿が描かれ、学僧としてのイメージが強調されている。



### 銅造阿弥陀如来立像

鎌倉時代 常福寺

【茨城県指定文化財】来迎印を結ぶ、金銅製の阿弥陀如来像。聖阿の師である了実が開創した常福寺の創建当初からの本尊なので、聖阿が日頃礼拝した蓋然性が高い。



### 聖阿讓状

【茨城県指定文化財】 応永22年(1415) 常福寺

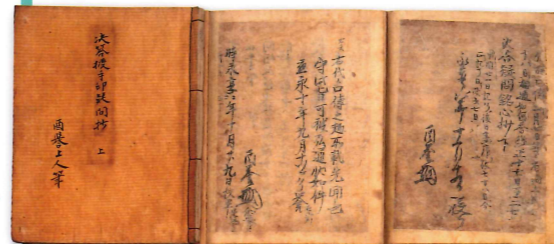
了実により開山された常福寺が、二世聖阿を経て、三世了智へ譲られたことを示す讓状。聖阿が没する5年前、応永22年8月22日の日付が記され、聖阿の花押も据えられる。



### 聖阿上人坐像

江戸時代 誕生寺

聖阿の誕生した岩瀬城跡に建立された誕生寺に所蔵される。像の額には上弦の三日月形の形があり、聖阿が「三日月(織月)上人」と言われた故事にちなんでいる。



### 七書

永享4年(1432) 増上寺

浄土宗における伝法で重要な書物である「伝書」のうち「七書」。増上寺には開山聖聡筆の七書が伝来する。五部七巻からなり、このうち二巻の奥書には永享4年(1432)に聖聡が校正した旨が記され、署名と花押が据えられる。